



「好き」でつながる
春日部の

歴史と今と未来

春日部市は10月1日に、市制施行20周年を迎えました。

春日部市市制施行20周年記念キャッチコピーは「かすかべ、あなたの好きが続くまち」。いつまでも受け継ぎたいもの、新しく生まれるもの。あなたの「好き」はどのように変化していますか。一緒にかすかべの歴史・今・未来をめぐる物語をたどってみましょう。

新春日部市となって、みんなで歩んできた20年。ここでは、「春日部がますます好き」になった」、そんな20年の歩みを振り返ります。

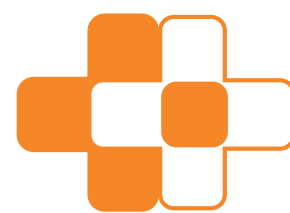


より住みやすいまち



平成28年には春日部市立医療センターが開院。そして、令和6年1月には市役所新庁舎がオープン。災害対策としては、平成26年に地震体験車「ゆらりん」を導入。平成27年には浸水被害の軽減を図るため、100ミリ安心プランを策定しました。さらに現在、春日部駅付近連続立体交差事業の工事が進んでおり、もっと便利になるかすかべの未来が楽しみです。

より魅力的なまち



+1のあるまち
kasukabe

市内外に春日部の魅力を分かりやすく印象付けるために、平成27年にシティセールスシンボルマーク「+1のあるまちkasukabe」をつくりました。平成22年に委嘱を始めたかすかべ親善大使や、平成28年から募集を開始したかすかべ+1サポーターの皆さんの力もお借りして、まちの魅力を発信しています。「+1」をきっかけに、人と人がつながって「好き」を共有していくことで、春日部のまちにたくさんの魅力があふれています。

より子育てしやすいまち



春日部市の子育て環境は、経済的な支援だけでなく、人と人とのつながりや、地域全体で子育てを応援するサポート体制が充実。多くの地域子育て支援拠点の他、こどもの成長に合わせて利用できる児童センターが三つあります。また、令和3年にはGIGAスクール構想の下、全児童・生徒にタブレット端末を配布。令和5年には市立医療センターが地域周産期母子医療センターに認定されるなど、妊娠中から就学後の教育まで、より子育てしやすいまちを目指しています。

『しんちゃん』と歩んだ20年



『クレヨンしんちゃん』の野原一家は、平成21年から、「子育て支援キャラクター」、平成22年からは、「まちの案内人」として活躍中。母子手帳・父子手帳に「クレヨンしんちゃん」デザインが採用されていたり、コミュニティバス「春バス」にラッピングされていたり、うごく子ども110番ステッカーにもデザインが採用されていたりと、市民にとって野原一家は一番身近な隣人かもしれません。

7月 「クレヨンしんちゃん」のなるほど春日部マガジンvol.2」が日本地域情報コンテンツ大賞2020の読者投票部門で第1位に



内閣府から「SDGs未来都市」に選定(県内2都市目)

1月 市役所新庁舎オープン



1月 「クレヨンしんちゃん」デザインの壁画「パナー(野原一家)」を市役所2階ホワイエへ移設



2025年 (令和7年)

10月 新庁舎が2024年度グッドデザイン賞を受賞

8月 「クレヨンしんちゃん」アクリルキーホルダー販売開始

8月 大風文化交流センター「ハルカイト」を開設

4月 かすかべフードセレクション第4期認定

4月 県内初、保育所と児童発達支援センターの機能を備えた複合型子育て支援施設「パレットやぎさき」を開設
ランドセルカバーに「クレヨンしんちゃん」デザイン採用

4月 かすかべフードセレクション第3期認定

3月 神明貝塚が国の史跡に指定

5月 こども医療費助成制度の拡充(窓口払い不要に)

4月 江戸川小中学校開校

4月 こども未来部を新設し子育て世代包括支援センター「ぽっぽセンター」を開設

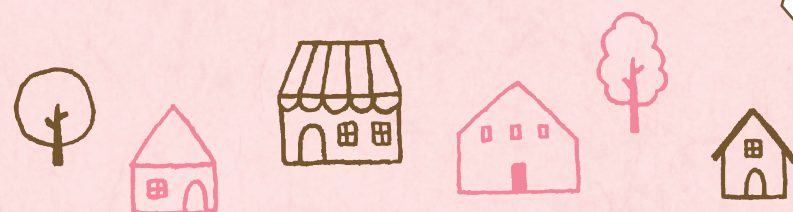
4月 かすかべフードセレクション第2期認定

10月 新・春日部市施行10周年記念式典開催、春日部市の歌「心の空」制定

8月 春日部市武里太陽光発電所完成

4月 シティセールスシンボルマーク「+1のあるまちkasukabe」決定

5月 武里南保育所開設



春日部で

今

輝いている人たち

まちの「今」をつくっているのは市民の皆さん一人一人。ここでは、春日部のことが好きで、まちを盛り上げて、より良しようと活躍している人の中から、4人の皆さんに活動内容やその思いなどを聞いてみました。



人が出歩きたくなるような 楽しいまち・集える場所に

Q. 「ふれあいウォーキング」を始めたきっかけは？

コロナ禍で高齢者の集まる場が減って、要介護になるリスクが高まることに危機感を覚えたからです。ウォーキングだけでなく、体操や筋力トレーニング、バランス運動なども行っています。男性も女性も車いすの人、ご自身の体力に合わせて参加できますよ。居場所として、参加者同士の交流を楽しみにしている人も多いです。



▲ふれあいウォーキングとは

Q. 「暮らし図書室」を始めたきっかけは？

「まちが楽しくなければ人は歩かない」と思い、シャッター商店街活性化のために、リノベーションスクールに参加したことがきっかけです。そこで出会った仲間と、オーナー本棚制の私設図書館を武里で始めました。2階にはまちのリビングを目指したスペースも。地域の人に気軽に立ち寄ってほしいです。

Q. 今後、春日部で実現したいことは？

共生社会を実現できる拠点を創りたいと考えています。例えば介護・児童のデイサービスと、地域の人が集える場所を一体型にするイメージ。老若男女問わず誰もが関わり合うことができる、「ごちゃ混ぜ」が当たり前な社会にしていきたいと思っています。

＼春日部のここが好き／
挑戦したい人にとって、
選択肢が多いところ



はかまた とおる
袴田 徹さん

佛リハビリコンパス代表取締役。理学療法士。令和3年から、ふれあいウォーキング事業でウォーキング講師を務める。厚生労働省主催「適いの場合全国フェスティバル」最優秀賞受賞。市のリノベーションまちづくり事業に参加、武里の「暮らし図書室」を手掛ける。(一社)あんど暮らし代表理事。



ほっとひと息つける 子育てに寄り添う助産院

Q. 春日部で助産師を始めたきっかけは？

子育て中に、地域の人の何気ない行動に助けられたことがあったんです。通りすがりに優しく声を掛けてくれたり、お花をもらったことも上機嫌になったり。その温かい思いをつなぐため、春日部で助産師としての活動を始めました。ランチ会などのイベントも開催しているので、ぜひおしゃべりしに来てください。

Q. 子育て支援で知ってほしいことは？

7月から春日部市でも、宿泊型に加えてデイサービス型・訪問型の産後ケアが始まりました。赤ちゃんの寝かしつけやお風呂の入れ方、授乳などを練習したり、子育ての悩みを相談できたりと、育児中のお母さんにとってうれしい仕組みです。子育てに寄り添った利用しやすい支援のあり方について、行政と一緒に取り組んでいければと考えています。

Q. 今後、春日部で実現したいことは？

「どんなふうに産みたいか」「どんな子育てをしたいか」を出産前からじっくり考えられる、「バースプラン」を立てる文化が広まってほしいと思っています。そして、誰もが安心して頼れる場所として、地域に助産院が当たり前にある未来をつくってきたいですね。

＼春日部のここが好き／
世代を超えた
支え合いができてるところ



てんまんやしき ちさち
天満屋敷 千幸さん

助産院母体院長。3月に市と「災害時等における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結。災害時に妊産婦や乳幼児と家族が安心して避難できる環境を整備し、母子の安全と健康を守る体制を強化。市民への妊娠・出産・育児支援を行っている。



得意分野を 生かしてまちの人と交流

Q. 春日部で飲食店を始めたきっかけは？

父が店を始めて半年ほどでコロナ禍となり、店を閉めることになったんです。せっかく作ったお店を無駄にしない、また私自身も何かしたいという思いから引き継ぐことを決意。店名も新たに令和2年の6月にリニューアルオープンしました。

Q. YouTubeも始めたきっかけは？

きっかけは、コロナ禍でお店が休業中に「お酒を飲む習慣を忘れてほしくない」と作った晩酌動画。外出自粛期間が終わってからは、市内の飲食店を飲み歩く動画も制作するように。今ではまちで声を掛けられたり、動画を見た人が店に来てくれたりします。地域イベントに参加して、まちを良くしようと活動する人たちと出会ったことで、春日部の魅力をより強く感じています。

Q. 今後、春日部で実現したいことは？

春日部駅の高架化が完成したら往来も活発になると思うから、みんなが気軽に立ち寄れるような飲み屋街を作りたいです。それからもっと積極的にまちのイベントに参加して、春日部のアイドルになれたらいいな(笑)。

＼春日部のここが好き／
飲食店の幅が広く
グルメな人が多い！



さいとう ゆめ
斎藤 結女さん

飲食店オーナー。YouTuber。YouTubeチャンネル「ゆめの酒ちゃん」(8/1現在、登録者数7,340人)で、主に市内の飲食店を紹介。自身も市内で飲食店2店舗を運営。



日本一周を経て、 春日部は「戻ってくる場所」

Q. カメラマンになったきっかけは？

銀行員としてお客さまと向き合ううちに「仕事に大切なのは人の魅力だ」と気付かされ、退職後約7カ月かけて自転車で日本一周の旅に出ました。道中で出会った人とのつながりや地域資源を生かしたいという思いが、今の活動のベースになっています。頼まれた仕事をやっていくうちに撮影の仕事が増え、カメラマンになっていました。

Q. 農業も始めたきっかけは？

コロナ禍で移動が制限される状況になり、全国を飛び回っていた時にはできなかったことに挑戦しようと畑を始めました。今は耕さず育てる「不耕起栽培」を実践し、関心のある人に手伝ってもらっています。畑で出会った人同士による挑戦も始まっていて、新たなつながりが広がっていることをうれしく思います。

Q. 今後、春日部で実現したいことは？

人との出会いを求めて出発した日本一周でしたが、次第に「旅で得た発見は春日部に還元したい」と思っている自分に気付きました。今も全国各地で仕事をしているけれど、僕が戻ってくる場所は春日部。いつか春日部にある街道沿いの文化や貝塚など、歴史的な地域資源を生かした取り組みをしてみたいです。

＼春日部のここが好き／
ほじよいスピード感と
余白がある「ゆるさ」



かじ なおき
梶 直輝さん

フリーランスフォトグラファー。カメラマンとして全国を行脚し春日部のPRをしている。さまざまな活動により得た自身の人脈を生かし、異なる分野の人々をつなぐ取り組みをしている。活動の様子は各種SNSで発信中。



春日部の

未来

こどもたちと考えた

20年後のかすかべ

これから先の未来、何をしているかな。まちはどう変化するのかな。市内の児童センター3館(エンゼル・ドーム、グーかすかべ、スマイルしょうわ)で中学生以下を対象に未来のかすかべと一緒に考えるワークショップを開催しました。「こんなまちになっていたらいいな」。自由な発想を膨らませ、もっとかすかべが「好き」になるようなワクワクする未来を描いてみました。

果物大好き。
かすかべは
おいしいフルーツが
いっぱい!

お姉ちゃんと
同じ幼稚園に
行くのが楽しみ

大人になったら
幼稚園の先生に
なりたい

ひまわりが
イメージカラーの
アイドルになりたい

車大好き!
いろんな色の
道路があるといいな

かすかべにある
僕たちの
おうちが大好き

かすかべは
自然いっぱい
とこが大好き

20年後、春日部が
首都になっていたら
おもしろいな!

庄和球場に
メジャーリーグが来て
空飛ぶ車で
野球観戦したい

駅前には
大きな傘があれば
雨が降っても
大丈夫だよ

虹が空に
なったらいいな

KIDS' VOICE

調査方法

児童センター3館に掲出(7/18~8/1)した用紙にシールを貼る形で実施。総シール貼付数523枚



20年後
あなたは何をしている?

- 1 スポーツ選手 28票
- 2 ユーチューバー 25票
- 3 アイドル 23票
- 4 パティシエ・料理人 20票
- 5 美容師 16票

20年後どうなっているのか
楽しみだなと思う場所

- 1 公園 83票
- 2 龍Q館 23票
- 3 春日部駅 18票

未来の春日部に
「あったらいいな」と思うもの

- 1 雨でもOK!いつでもみんなで集まれる
広い遊び場 36票
- 2 食べたいものが何でも出てくる
レストラン 35票
- 3 災害時でも個人的な悩みでもどんな人でも
希望する人全員が
快適に避難できるシェルター 33票

他にもこんな声が寄せられました

押し活できるラ
イフ会場がある
といいな

(未来の春日部に
あったらいいもの)
みんなのえがお!!

クレヨンしんちゃん
ミュージアムがで
きるといいな!

ドーム型の小学校
(暑くて外遊びがで
きないことがないよう)

(なりたいもの)
イラストレーター

(なりたいもの)
ペットショップ店員

\\ SNS投稿で一緒に //

春日部市の
20周年を盛り上げよう

あなたも春日部の好きなところをSNSに投稿してみませんか。
ハッシュタグ「#かすかべプラスワン」と「#かすかべ20周年」を付けて、春日部市内で撮影した写真や動画をInstagramで投稿してください。



詳しくは市HPで▶